

第 115 回日商簿記 3 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
未 収 入 金	前 払 金	仮 払 金	備 品
貸 付 金	支 払 手 形	買 掛 金	未 払 金
前 受 金	仮 受 金	備品減価償却累計額	資 本 金
売 上	受 取 手 数 料	固 定 資 産 売 却 益	仕 入
旅 費 交 通 費	固 定 資 産 売 却 損	支 払 手 数 料	雑 益
雑 損	現 金 過 不 足		

- 現金の実際有高が帳簿残高より多かったため、現金過不足勘定で処理されていた ¥ 10,000 のうち、¥ 6,000 は受取手数料の記入漏れであることが決算日にいたり判明した。残額については不明のため、適当な科目に振り替えることにした。
- 商品 ¥ 96,000 を掛けで売り渡した取引を、借方・貸方とも誤って ¥ 69,000 と記入されていたので、正しい金額に修正した。
- 商品 ¥ 200,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 150,000 はすでに支払ってある手付金で充当し、残額は掛けとした。
- 不要となった備品（取得原価 ¥ 300,000 、減価償却累計額 ¥ 100,000 、間接法で記帳）を期首に処分し、売却代金 ¥ 50,000 は後日受け取ることにした。
- 従業員の出張に際し、旅費の概算額 ¥ 100,000 を現金で手渡した。

・解答

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
1	現 金 過 不 足	10,000	受 取 手 数 料 雑 益	6,000 4,000
2	売 掛 金	27,000	売 上	27,000
3	仕 入	200,000	前 払 金 買 掛 金	150,000 50,000
4	備品減価償却累計額 未 収 入 金 固 定 資 産 売 却 損	100,000 50,000 150,000	備 品	300,000
5	仮 払 金	100,000	現 金	100,000